

牛群検定通信 No130

～検定成績表の記号～

今回は、検定成績表上の※▽▼など記号の活用を紹介します。

1 搾乳日数の太い実線

個体検定日成績にズラッと並んだ検定牛の成績は、搾乳日数（分娩後日数）の順番に並んでいます。上部が分娩直後、下部が泌乳末期となります。分娩後45日と150日に相当するところに、太い実線が引かれています。この実線により、検定成績を泌乳ステージまたは繁殖ステージにグループ化して見ることができます。

2 乳量の記号

個体検定日成績において乳量は、検定日に測定されたそのままの記録です（AT検定では1日乳量に換算されています）。急激に乳量を減少させてしまう牛が出ないようにしなければなりません。以下の記号が表示された場合、病気などを発症していないか個体観察が必要です。

乳量	分娩後60日以内での乳量減	: ※
	前月比較で、10～20%乳量減少	: ▽
	20～40%乳量減少	: ▼
	40%以上の乳量減少	: 大きな▼

乳成分率は、飼料バランスをみることができます。一般に粗飼料が足りない場合は乳脂率が下がり、濃厚飼料が足りない場合は蛋白質率や無脂固形分率が下がります。選び食いや盗食、食い負けなどもみることができます。

前月比較で、1.0%以上減 : ▼

前月比較で、0.5%以上減 : ▼

前月比較で、1.0%以上減 : ▼

体細胞数は乳房炎の指標です。今月、前月、前々月の3カ月が表示してありますので、改善が進んでいるのか、悪化していないかを確認することができます。極端に悪化している▲が改善しない場合は生産ラインから除外し治療に専念することも必要です。

1 1 3 2千個以上 : ▲